

ゲンティン・マレーシア (GENM)

マレーシア屋外テーマパーク「ゲンティン・スカイ・ワールド」、米国「ハイアットリージェンシーJFKホテル」に注目

マレーシア | カジノ・ゲーミング | 業績フォロー

BLOOMBERG GENM:MK | REUTERS GENM.KL

- 2021/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比7.1倍、調整EBITDAが同赤字幅縮小。前四半期比では増収、調整後EBITDAが黒字転換。
- マレーシア事業は6/1からのRWGの操業停止が響いたが、英国・エジプト事業、および米国事業は調整後EBITDAが黒字転換と改善した。
- マレーシア屋外テーマパーク「ゲンティン・スカイ・ワールド」および米国「ハイアットリージェンシーJFKホテル」の動向が注目される。

What is the news?

8/26発表の2021/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比7.1倍の8.17億MYR、純利益が前年同期の▲9.00億MYRから▲3.48億MYRへ赤字幅縮小。減損損失や事業売却益など一時的要因の影響を除いた調整後EBITDAは前年同期の▲4.86億MYRから4,560万MYRへ黒字転換。前年同期の世界的な移動規制に伴う操業一時停止からの反動増により売上高・利益ともに改善した。前四半期比でも、売上高が31.1%増、調整後EBITDAが▲1.10億MYRからの黒字転換と回復を示した。

2Qのセグメント別の調整後EBITDAは以下の通り。①レジャー・ホスピタリティ部門のマレーシアが前年同期の▲2.14億MYRから▲9,420万MYRへ赤字幅縮小。今年6/1からマレーシア全土が都市封鎖となるまでの2ヶ月間はRWG(リゾート・ワールド・ゲンティン)の操業制限が緩和されていたこと、および人件費などコスト削減が赤字幅縮小に寄与した。②同部門の英国・エジプトが前年同期の▲1.03億MYRから1,430万MYRへ黒字転換。今年5/17以降のRWB(リゾート・ワールド・バーミンガム)とイギリスのカジノ再開が貢献した。③同部門の米国・バハマが前年同期の▲1.76億MYRから1.09億MYRへ黒字転換。RWNYC(リゾート・ワールド・カジノ・ニューヨークシティ)が急回復した。④不動産部門および投資・その他部門が前年同期比84.0%増の1,620万MYR。

How do we view this?

マレーシアでの6/1以降のRWGの一時的閉鎖による業績への悪影響が予想されるなか、アフター・コロナに向けて屋外テーマパークの「ゲンティン・スカイ・ワールド」の予定通りの年内完成が期待される。

英国は5/17のカジノ営業再開以降の堅調な推移が見込まれるほか、オンライン・カジノ事業の成長も期待される。

新型コロナワクチン接種普及に伴う経済活動正常化が進む米国では、RWNYCとRWC(リゾートワールドキャットスキル)の相乗効果による会社全体の業績牽引が見込まれる。その中でも、今年8/6にリゾート・ワールド・ニューヨークで営業を開始した「ハイアットリージェンシーJFKエアポートホテル」の業績への貢献が高まると想定されよう。

業績推移

※参考レート 1MYR=26.53円

事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12F	2022/12F
売上高(百万MYR)	9,921	10,314	4,465	4,515	9,642
当期利益(百万MYR)	-19	1,395	-2,263	-998	884
EPS(MYR)	-0.00	0.25	-0.40	-0.20	0.14
PER(倍)	-	12.34	-	-	21.26
BPS(MYR)	3.22	3.27	2.64	2.36	2.37
PBR(倍)	0.94	0.93	1.15	1.29	1.28
配当(MYR)	0.11	0.11	0.06	0.10	0.16
配当利回り(%)	3.62	3.62	1.97	3.29	5.26

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(MYR)	0.10	(予想はBloomberg)
終値(MYR)	3.04	2021/9/13

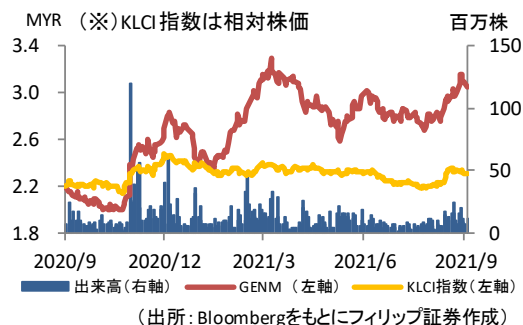
会社概要

1980年設立。マレーシア資本財閥のゲンティングループの企業で、統合型リゾート(IR)を世界的に展開している。

主力のレジャー・ホスピタリティ部門は、以下の通り。
 ①マレーシア事業は、マレーシア唯一の公認カジノを併設した「リゾート・ワールド・ゲンティン(RWG)」を擁する。
 ②英国・エジプト事業は、英国の「リゾート・ワールド・バーミンガム」、エジプトの「クロックフォードカイロ」などを運営する。英国ではカジノのリーディング企業として、ロンドンや郊外でカジノを運営するほか、オンライン・カジノ事業を展開。
 ③米国・バハマ事業は、ニューヨークの「リゾート・ワールド・カジノ・ニューヨーク・シティ(RWNYC)」、バハマの「リゾート・ワールド・ビミニ」を運営する。
 その他にも、④不動産部門や投資・その他部門を運営している。

企業データ(2021/9/13)

ベータ値	1.08
時価総額(百万MYR)	17,129
企業価値=EV(百万MYR)	25,581
3ヵ月平均売買代金(百万MYR)	23.3



主要株主(2021/9)

1.ゲンティン	49.45	(%)
2.オーバーシー・チャイニーズ銀行	3.42	
3.VANGUARD GROUP	2.02	

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp

2021年9月14日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。